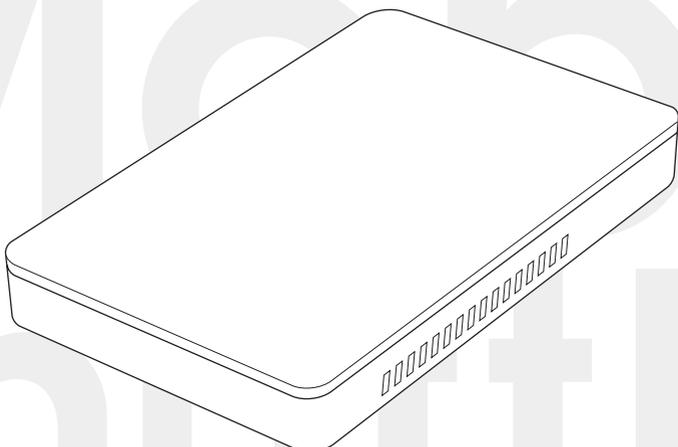


Multi-Interfaces 2.5" HD Drive

Mobilshuttle LE Series

User's Manual



ご注意

- 1) 本製品と本書は、ヤノ販売株式会社の著作物です。弊社の著作物の一部または全部を、弊社に無断で複製、複写、転載、改変することは、法律で禁止されています。
- 2) 本製品と本書は、改良のため内容を予告せずに変更する場合があります。
- 3) 本製品は、法律で定める戦略物資等輸出規制製品に該当する場合がありますので、本製品の輸出あるいは国外への持ち出しにはご注意ください。
- 4) 本製品は、日本国内でご利用いただくように設計、製作されています。国外でのご使用に関しては、弊社は責任を負いかねます。国外へのサポート、アフターサービスはいたしかねますので、あらかじめご了承ください。
- 5) 本製品を使用して、作成し、保存したデータが、ハードウェアの故障、誤動作あるいは他の理由によって破壊された場合には、弊社は理由の如何にかかわらず保証いたしかねます。必要なデータはあらかじめバックアップされることをお奨めいたします。
- 6) 本書をバックアップし、ご自分で保有される場合に限って、一部のみ複写できます。
- 7) 本製品のソースコードをお客様に開示し、ご使用を許諾することはありません。本ソフトウェア製品の解析、逆アセンブル、逆コンパイル、またはリバースエンジニアリングを禁止しております。
- 8) 本書に記載のない、あるいは本書に記載された内容と異なる操作によって生じた、どのような事故、損害に関しても、弊社では責任を負いかねます。
- 9) 本製品は、医療など人命にかかわる機器、航空機、原子力、輸送など高い信頼性や安全性を必要とする設備や機器としての使用、あるいはこれらの機器や設備に組み込んだでの使用されることは考慮しておりません。このようなご利用によって生じた、どのような事故、損害に関しても、弊社では責任を負いかねます。
- 10) 本製品および本書の内容について、ご不審な点やお気付きの点がございましたら、弊社カスタマーサポートまでご一報くださいますようお願い申し上げます。

マルチインターフェース対応 2.5インチ ハードディスクドライブ

Mobilshuttle LE ユーザーズマニュアル

はじめに

このたびは、弊社製マルチインターフェース対応 2.5インチハードディスクドライブ **Mobilshuttle LE** シリーズをお買い上げいただきありがとうございます。

本製品を使用するには、コンピュータへの接続作業が必要です。また、Windows マシンでご使用の場合は、再フォーマットの必要があります。このマニュアルを読んで正しく接続やフォーマットを行ってください。

また、このマニュアルに記載されている画面上の表示等は、お使いのコンピュータのシステムの設定やバージョンによって、見え方が異なる場合があります。

● マニュアルの本文中の記号について

 注意	作業上、非常に大切なことを説明しています。注意事項を守らないと、重大なトラブルが発生し、データが失われることがあります。
 MEMO	作業にあたって気にとめていただきたいことを説明しています。作業の参考にしてください。

安全にお使いいただくために

ケガや故障、火災などを防ぐために、ここで説明している注意事項を必ずお読みください。

 警告	この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などによる死亡や大ケガなど人身事故の原因となります。
 注意	この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりケガをしたり、他の機器に損害を与えたりする恐れがあります。

警告

-  本製品を使用する際は、ご使用のコンピューターや周辺機器メーカーが指示している警告、注意事項に従ってください。
-  本製品の分解、改造、修理をご自分で行わないでください。火災や感電、故障の原因となります。また、故障時の保障対象外となります。
-  本製品やコンピューター本体に、水などの液体や金属、たばこの煙などの異物を入れないでください。そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因となります。
-  本製品を含め、ビニール袋や添付部品は、小さなお子様の手の届かないところに配置/保管してください。触ってけがをする、誤って口に入れる、頭から被るなど思わぬ事故の恐れがあります。
-  本製品付属以外のケーブルを使用しないでください。

- 

ケーブル類は、傷付けたり破損しないように注意してください。
傷んだ状態で使用すると、感電や火災の原因となります。
- 

ケーブル類を踏みつけたり、上に物を載せないでください。
傷んだ状態で使用すると、感電や火災の原因となります。
- 

水を使う場所や湿気の多いところで、本製品やコンピューター本体
を使用しないでください。
火災や感電、故障の原因となります。
- 

本製品やコンピューター本体に、水などの液体や異物が入った時は、直ちに本製品をアンマウントしてからケーブルを取り外してください。そのあとご購入店などにご連絡ください。
そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因となります。
- 

風通しの悪いところに設置する、布を掛ける、じゅうたんや布団の上
に置くなど、通気口をふさいだ状態で使用しないでください。
通気口をふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となります。
- 

本製品の周辺に放熱を妨げるような物や熱器具を置いたり、加熱し
ないでください。
そのまま使用すると、火災、故障の原因となります。
- 

本製品やコンピューター本体から煙が出たり異臭がした時は、直ちに本製品をアンマウントしてからケーブルを取り外してください。
そのあとご購入店などにご連絡ください。
そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因となります。
- 

静電気による破損を防ぐため、本製品に触れる前に、身近な金属（ド
アノブやアルミサッシなど）に手を触れて、身体の静電気を取り除
いてください。
人体などからの静電気は、本製品を破損、またはデータを消失、破損さ
せる恐れがあります。

 注 意

本製品の接続、取り外しの際は、本マニュアルの指示に従ってください。

強引な着脱は、機器の故障や、火災、感電の恐れがあります。



必要なデータはバックアップするようにしてください。

本製品の使用中にデータが消失もしくは破壊された場合、理由の如何に関わらず、データの保証は一切いたしかねます。



本製品を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。

機器の故障やデータ損傷の原因となります。



本製品やコンピューター本体を次のようなところで使用、保管をしないでください。

- ・不安定な場所
- ・振動のある場所
- ・高温/多湿な場所
- ・衝撃のある場所
- ・傾斜面
- ・たばこの煙
- ・腐食性ガス雰囲気中
- ・ホコリの多い場所
- ・直射日光の当たる場所
- ・水気の多い場所 (台所、浴室など)
- ・強い磁気が発生する場所
- ・暖房器具の近く
- ・飲食物の近く
- ・静電気の影響を受けやすい場所



本製品の稼働中に接続ケーブルなどを抜かないでください。

機器の故障やデータ損傷の原因となります。



本製品のコネクター部分には触れないでください。

故障の原因となります。



本製品や付属物の上に物を置かないでください。

傷がついたり、故障の原因となります。



本製品を移動する時は、接続ケーブルを取り外してください。

機器の故障やデータ損傷の原因となります。



本体が熱い時はさわらないでください。

本製品が動作中や停止直後は、本体が熱い場合がありますのでご注意ください。



本製品が結露した状態で使用しないでください。

本製品を寒い所から暖かい場所へ移動したり、部屋の温度が急に上昇すると、内部が結露する場合があります。そのまま使うと誤動作や故障の原因となります。再度使用する場合は、時間をおいて結露がなくなってからご使用ください。



本製品を廃棄もしくは譲渡する際は、以下の内容にご注意ください。ハードディスクのデータは削除やフォーマットを行っただけでは完全に消去されません。特殊なソフトウェアなどを使用して、データを復元、再利用される可能性があります。

情報漏洩等のトラブルを回避するためにデータ消去ソフトやサービスをご利用いただくことをお勧めいたします。

本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従ってください。条例の内容については、各地方自治体にご確認ください。

目次

はじめに.....	1
安全にお使いいただくために.....	2

Chapter 1 準備

1. 本製品の概要について.....	8
パッケージの内容を確認しましょう.....	8
動作環境について.....	9
本製品の特長.....	10

2. お使いになる前に..... 11

各インターフェイス共通の 注意事項・制限事項.....	11
FireWireで接続する際の 注意事項・制限事項.....	13
USBで接続する際の 注意事項・制限事項.....	15
Mac OS Xで使用する際の 注意事項・制限事項.....	15

3. 各部の名称とはたらき..... 16

Chapter 2 使用方法

1. 接続しましょう.....	20
FireWireで接続する.....	20
USBで接続する.....	22
2. 使ってみましょう.....	24
電源の入れ方 / 切り方.....	24
本製品を取り外す.....	25
Macで起動ディスクに設定する場合.....	26

3. 初期化しましょう..... 27

Mac OS 9.2.2で初期化する.....	27
Mac OS Xで「ディスクユーティリティ」 を使って初期化する.....	30
Windows 7 / Vistaで フォーマットする.....	35
Windowsで初期化されたディスクを 再フォーマットする.....	40
Windows XPでフォーマットする.....	41

Chapter 3 付録

1. こんな時には.....	48
2. サポートとサービスのご案内.....	53
カスタマーサポートと Webサイトのご案内.....	53

Chapter

1

準備

Chapter 1では、本製品を使用する前に、知っておいていただきたいことを説明しています。

パッケージの内容を確認しましょう

本製品のパッケージには、下記のものが入っています。お使いになる前に、必ず内容をご確認ください。不足品や破損品などがありましたら、すぐにお買い上げの販売店または弊社カスタマーサポートへご連絡ください。➡ P.53「サポートとサービスのご案内」

■ 内容物一覧

<input type="checkbox"/> Mobilshuttle LE 本体.....	1台
<input type="checkbox"/> ソフトスリーブケース	1個
<input type="checkbox"/> FireWire (IEEE1394) ケーブル (9pin ⇔ 9pin)	1本
<input type="checkbox"/> FireWire (IEEE1394) ケーブル (6pin ⇔ 6pin)	1本
<input type="checkbox"/> USB Y ケーブル (A ⇔ mini B)	1本
<input type="checkbox"/> ゴム足	4個
<input type="checkbox"/> Mobilshuttle LE ・はじめにお読みください	1部
<input type="checkbox"/> スペックシート	1部
<input type="checkbox"/> 保証書	1部
<input type="checkbox"/> ユーザー登録用紙	1部
<input type="checkbox"/> シリアルシール	1部

動作環境について

■Mac

接続方法	対応機種と対応システム
FireWire 800	対応機種：FireWire 800ポートを標準搭載しているMac 対応システム：Mac OS X 10.4.11 / Mac OS X 10.5.8 / Mac OS X 10.6.8 / Mac OS X 10.7.2 ※1
FireWire 400	対応機種:FireWire 400ポートを標準搭載しているMac 対応システム：Mac OS X 10.4.11 / Mac OS X 10.5.8 / Mac OS X 10.6.8 / Mac OS X 10.7.2 ※1
USB2.0	対応機種:USB 2.0ポートを標準搭載しているMac 対応システム：Mac OS X 10.4.11 / Mac OS X 10.5.8 / Mac OS X 10.6.8 / Mac OS X 10.7.2 ※1

※1 最新のOS対応状況につきましては弊社webサイトをご確認ください。

■Windows (PC/AT 互換機)

接続方法	対応機種と対応システム
IEEE1394.b	対応機種:IEEE1394.bポートを装備しているPC/AT互換機 対応システム：Windows 7 / Vista / XPがプリインストールされているモデル ※1
IEEE1394.a	対応機種: IEEE1394.a(i.LINK)ポートを装備しているPC/AT互換機 対応システム：Windows 7 / Vista / XPがプリインストールされているモデル ※1
USB2.0	対応機種:USB 2.0ポートを装備しているPC/AT互換機 対応システム：Windows 7 / Vista / XPがプリインストールされているモデル ※1

※1 Windowsでお使いの場合は、必ずIEEE1394バス コントローラーのドライバー「OHCI」が必要です。

IEEE1394 CardBus PCカード、IEEE1394 PCIボードをお使いの場合は、搭載するコンピューターに対応しているかご確認ください。



Windows 7については、Windows 7 Home Premiumで、Windows Vistaについては、Windows Vista Ultimateで、Windows XPについては、Windows XP Professionalで動作確認を行っています。

本製品の特長

●マルチインターフェイス対応 (FireWire 800 / 400、USB 2.0)

FireWire 800 (IEEE1394.b) / 400 (IEEE1394.a / iLINK)、USB 2.0対応のマルチインターフェイスを搭載しているため、お客様の使用環境に応じた活用ができます。また、複数のFireWire機器の使用に便利なデジチェーン接続が可能です。

また、FireWire 800用ケーブル (9pin ⇔ 9pin)、FireWire 400用ケーブル (6pin ⇔ 6pin)、USB Yケーブル (A ⇔ mini B) を標準で付属しています。

●Mac & Windows対応

最新OS「Mac OS X Lion」、「Windows 7」にも対応。MacとWindowsの両プラットフォームで幅広くお使いいただけます。

●バスパワー駆動に対応

バスパワーによる電源供給により、ケーブル一本のシンプル接続で使用できます。外出先でのノートパソコンとの使用に最適です。

※コンピューター本体からの供給電力が消費電力以下の場合、またはコンピューター本体のIEEE1394コネクタが4ピンの場合には使用できません。ただし、USB接続の場合は付属のUSB YケーブルをPCに接続して電力供給を確保できます。

●起動ディスク対応 (FireWire 800 / 400、Mac OS Xのみ)

Mac ProやMacBook Proからの起動ディスクにも対応していますので、外出先にも普段の環境を持ち歩くことが可能です。

●耐衝撃性、耐熱性に優れたホワイトポリカーボネート筐体

ABS樹脂よりも、耐衝撃性、耐熱性にすぐれたポリカーボネートを使用しています。LEDインジゲーターに透明樹脂を使用せずとも、筐体を光が透過するためスマートな外観を保ちながらアクセスランプの視認性も良好です。

●携帯時にかさばらないソフトスリーブケース付属



本製品に付属のゴム足を利用すると、ソフトスリーブケースへの出し入れがスムーズにいかない場合があります。ゴム足が取れる原因になりますのでご注意ください。



本製品をソフトスリーブケースに入れたまま使用しないでください。異常発熱し、故障の原因となります。

2 お使いになる前に

本製品のご使用にあたり、以下の点に注意してください。
また、接続されている環境に合わせて、各注意事項をお読みください。

各インターフェイス共通の注意事項・制限事項

- 本製品を導入するための作業を始める前に、必ず P.2「安全にお使いいただくために」をお読みください。
- 本製品は安定した場所に設置してご使用ください。モニターやコンピューター本体の上など、不安定な場所で使用すると、落下の恐れがあり、故障の原因となります。
- タバコの煙の粒子が本製品のドライブ内部に付着すると、故障の原因となります。本製品の近くでの喫煙はご遠慮ください。同様に、チリやホコリの多い場所では使用しないでください。
- 本製品が汚れた場合は、柔らかい布でふいてください。汚れがひどい場合は、水で薄めた中性洗剤液に柔らかい布を浸し、固く絞ってから汚れをふき取ってください。シンナー、ベンジン、アルコールなどの有機溶剤は使用しないでください。
- 本製品を使用する場合は、必ず付属のケーブルを使用してください。また、他の製品に本製品の付属品を使用しないでください。破損や故障の原因となります。
- 本製品のFireWireポートとUSBポートを同時に使用しないでください。データが失われたり、本製品が故障する恐れがあります。
- 本製品に対して 2台以上のコンピューターを接続しないでください。コンピューターを使用できなくなります。
- 本製品のアクセス時(アクセスランプが点滅している時)や、デスクトップにマウントしている時に、「電源を切る」「ケーブルを外す」といった行為をしないでください。データが失われたり、本製品が故障する恐れがあります。
- ご使用の環境によっては、本製品をコンピューターに接続しマウント（アイコンが表示）されるまでに数十秒かかる場合があります。
- 本製品は仮想メモリのディスクに設定できません。
- 本製品に対して初期化を実行すると、データはすべて消去されます。消去されたデータを元には戻せませんので、十分にご注意ください。

●パーティションについて

・Mac OS X の場合

システムに標準で用意されているアプリケーション「ディスクユーティリティ」を使って複数のパーティションを作成できます。パーティションの作成を行うと、ボリューム内のデータは消去されます。消去されたデータを元には戻せませんので十分にご注意ください。

・Windowsでお使いの場合

マルチパーティションに対応しており、ファイルシステムの制限範囲内で複数のパーティションを設定できます。フォーマットを行うと、そのボリューム内のデータは消去されます。消去されたデータを元には戻せませんのでご注意ください。



Mac OS XではNTFSフォーマットされたボリュームのマウント、読み込みに対応していますが、書き込みには対応しておりません。また、動作について保証されておりません。



Windows 7/VistaのFAT32フォーマットは、フォーマッターに制限があり、32GBを超えるボリュームをフォーマットできません。NTFSフォーマットでの使用を推奨いたします。



複数のFAT32ボリュームに区切られた本製品をMac OS 9.2.2でお使いになる場合、File Exchangeが有効であれば、第1パーティションのみデスクトップにマウントされます。ただし、第2パーティション以降はマウントされませんのでご注意ください。なお、Mac OSでのWindows (DOS) フォーマットディスクの動作については保証されておりません。

●コンピューターの「スリープ」「スタンバイ」「サスペンド」などの省電力モードは無効にしてください。省電力モードから復帰ができなかったり、データが失われたり、本製品が故障する恐れがあります。

●本製品は「システム起動中にデバイスの追加や取り外しをする」など、活線挿抜(ホットプラグ)といわれる動作が可能です。ただし、本製品のアクセス時(アクセスランプが点滅している時)やデスクトップにマウントしている時は、このような行為をしないでください。データが失われたり、本製品が故障する恐れがあります。

●本製品とともに接続する機器で音楽・動画を再生中(リアルタイム動作中)に、本製品を動作させると、再生中の音楽・動画が停止や中断することがあります。

FireWireで接続する際の注意事項・制限事項

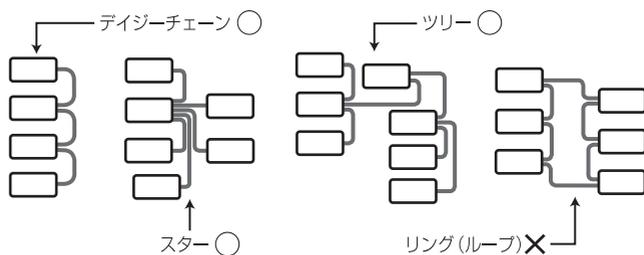
- FireWire ケーブルは、必ず FireWire インターフェイス規格に準拠し、高速転送に対応したものをお使いください。
- コンピューター本体に FireWire ケーブルを接続する際は、コネクタ（オス側）の形状とポート（メス側）の形状を確認のうえ、正しい方向に差し込んでください。
逆方向に差し込まれた状態で電源を投入すると、過電圧が発生し、本製品やコンピューターが故障したりデータが消失する恐れがあります。
逆方向に差し込むなど、ケーブル接続時の誤使用によってコンピューター本体や本製品が故障した場合は、ケーブルも故障している恐れがあります。故障したケーブルを他の正常な製品で使用した場合、その製品も過電圧を発生させる恐れがありますので、故障している（もしくは、故障している恐れがある）ケーブルは、ご使用にならずに必ず破棄してください。
- コネクタが 4pin タイプの FireWire ケーブルではバスパワー動作に対応した機器に電力供給が行えません。複数の FireWire 機器を接続する場合、接続の流れの中に 4pin コネクタのケーブルで接続する FireWire 機器が含まれていると、正常に動作しなくなる恐れがあります。
- 本製品は 4pin の FireWire ポートでの動作検証を行っておらず、対応するケーブルは付属していません。本製品を使用する際は、必ず付属のケーブルを使用してください。
- 本製品の電源が OFF の場合、本製品以降に接続されている他の FireWire 機器のデータ転送はできません。本製品以降に接続されている他の FireWire 機器を認識させる場合は、本製品にバスパワーで十分な電力が供給されている必要があります。
- 本製品を含む複数台の FireWire 機器をダイジーチェーンで接続してお使いの場合、システム起動後に FireWire 機器の電源を ON にすると認識されない場合があります。この場合は、認識されない機器を電源が ON の状態のまま一旦取り外し、再度接続し直してください。
FireWire 機器を接続した状態でシステムを起動する場合は、先に全ての FireWire 機器の電源を ON にしてからコンピューターの電源を ON にし、システムを起動させてください。
- FireWire ハブに接続する場合は、FireWire ハブに付属のマニュアルをよくお読みのうえにお使いください。ハブ接続で正常に動作しない場合は、コンピューター本体のコネクタに接続してお使いください。

- 複数の FireWire 機器を接続してお使いになると、システム起動中にデスクトップ上にマウントされる順番と、システム再起動後にマウントされる順番が変わる場合があります。

複数の(特に、同じタイプの) FireWire 機器を接続する場合は、「デバイスのボリューム名を変える」「デバイス本体に印を付ける」など、見分けがつくようにしてください。

- FireWire 規格では、「デジチェーン」「スター」「ツリー」などのいろいろな接続方法(次項を参照)を用いると、1つのバスにつき、コンピューター本体を含めて 63 台までの機器を接続可能です。ただし、実際には「デジチェーン」を例にとると、両端の間を接続できるケーブルの本数が16本(16ホップといいます)までという制限があります。

- FireWire 規格では、「デジチェーン」「スター」「ツリー」のいずれの接続方法も可能で、それぞれの接続方法を組み合わせることもできますが、リング(ループ)状態での接続はできません。



- FireWire 800 (IEEE1394.b) の場合、本製品をデジチェーンで同時に接続できる台数は4台までです。デジチェーンによる5台以上の接続については動作保証しておりませんので、ご注意ください。

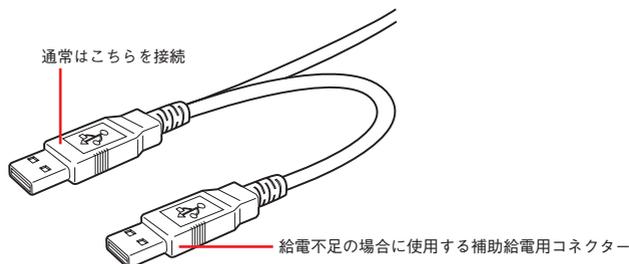
- コンピューターの FireWire 800 ポートに、本製品と FireWire 800 に対応していない機器をデジチェーン等で接続してお使いの場合、本製品の転送速度が低下する場合があります。

コンピューターに FireWire 800 ポートと FireWire 400 ポートが搭載されている場合は、FireWire 800 ポートには本製品などの FireWire 800 対応機器を接続し、FireWire 400 ポートには FireWire 800 に対応していない機器を接続してお使いになるようお勧めします。

- Windows で IEEE1394 接続している場合、必ず IEEE1394 バスコントローラーのドライバー「OHCI」が必要です。OHCI ドライバーがインストールされているか確認してください。

USBで接続する際の注意事項・制限事項

- USBで接続する場合は、必ず本製品に付属のUSB Yケーブル（A ⇄ mini B）をお使いください。
- コンピューターにはUSBポートが二股に分かれている方を接続してください。給電不足で本製品が認識されない場合は、補助給電用コネクタもMac / Windows PCに接続してください。



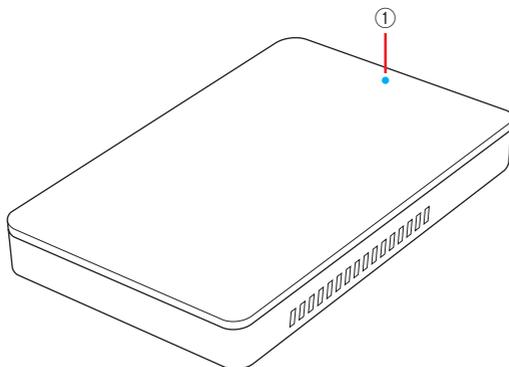
- 本製品をコンピューターのUSBポートに接続したままでシステムを起動させると、認識されない場合があります。この場合は、本製品の電源がONの状態のまま一旦取り外し、再度接続し直してください。
- USB ハブに接続する場合は、USBハブに付属のマニュアルをよくお読みのうえでお使いください。ハブ接続で正常に動作しない場合は、コンピューター本体のコネクタに接続してお使いください。

Mac OS Xで使用する際の注意事項・制限事項

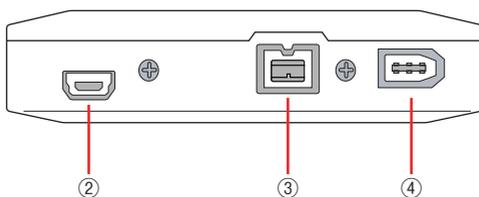
- Mac OS XでのWindows（DOS）フォーマットディスクの動作を弊社が保証するものではありません。
- Mac OS X でハードディスクの初期化を行う場合は、システムに標準で用意されているアプリケーション「ディスクユーティリティ」をお使いください。
- 「UNIX ファイルシステム」形式でイニシャライズされたハードディスクは、Mac OS Xでのみお使いいただけます。他のシステム（Windowsを含む）では、お使いいただけません。

3 各部の名称とはたらき

■ 前面 / 上面



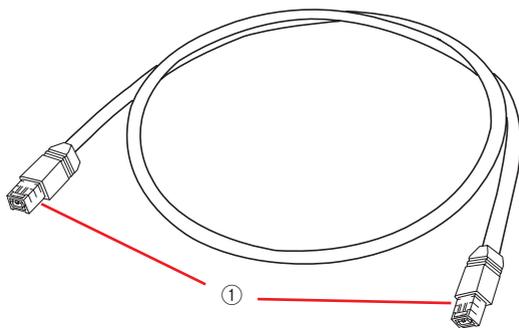
■ 背面



①	パワーランプ アクセスランプ	電源を投入すると青色に点灯します。本製品にアクセスしている時に点滅します。
②	USBポート (mini B)	USB Yケーブルのコネクター (mini B) を接続します。
③	FireWire 800ポート	FireWire 800 (IEEE1394.b) ケーブルのコネクター (9pin) を接続します。
④	FireWire 400ポート	FireWire 400 (IEEE1394.a) ケーブルのコネクター (6pin) を接続します。

■FireWireケーブル (9pin ⇔ 9pin)

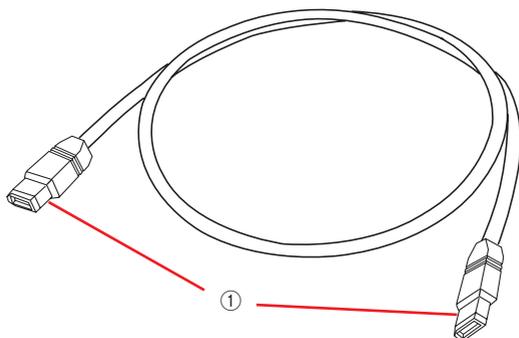
本製品のFireWire 800 (IEEE1394.b) ポートとコンピューターのFireWire 800 ポートを接続するケーブルです。



①	FireWire コネクター (9pin)	本製品のFireWire 800ポートとコンピューター本体のFireWire 800ポートを接続します。
---	-----------------------	--

■FireWireケーブル (6pin ⇔ 6pin)

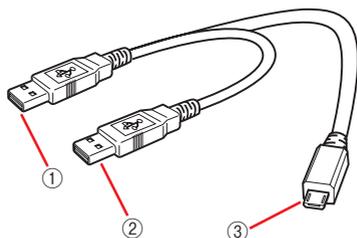
本製品のFireWire 400 (IEEE1394.a) ポートとコンピューターのFireWire 400 ポートを接続するケーブルです。



①	FireWire コネクター (6pin)	本製品のFireWire 400ポートとコンピューター本体のFireWire 400ポートを接続します。
---	-----------------------	--

■USB Yケーブル (A ⇔ mini B)

本製品のUSBポート(mini B)とコンピューターのUSBポートを接続するケーブルです。



① タイプAコネクタ	コンピューター本体のUSBポートに接続します。
② タイプAコネクタ (給電用)	給電不足で本製品が認識されない場合、コンピューター本体のUSBポートに接続します。
③ タイプmini Bコネクタ	本製品のUSBポート (mini B) に接続します。

Chapter

2

使用方法

Chapter 2では、本製品をコンピューターに接続する方法と、接続後の使用方法を説明しています。説明内容を十分にお読みになり、正しくご使用ください。また、MacおよびWindowsでの初期化方法も説明していますので、必要に応じてお読みください。

1 接続しましょう

本製品をコンピューター本体のFireWire (IEEE1394) ポートまたは、USBポートに接続します。

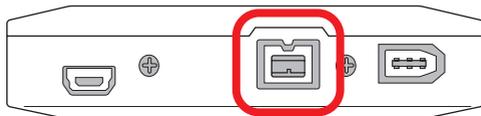
PCカードやPCIボードでお使いの場合は、カードやボードに付属のマニュアル等をお読みください。

FireWireで接続する

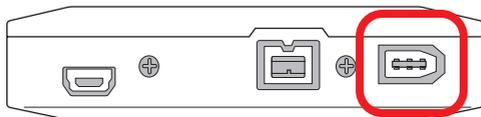
本製品をコンピューター本体のFireWire 800 (IEEE1394.b) ポートまたはFireWire 400 (IEEE1394.a) ポートに直接接続し、使用する場合の接続方法について説明します。

1 本製品側にFireWireケーブルを接続します。FireWireケーブルのコネクターの形状と差し込む向きを確認し、本製品のFireWireポートにしっかりと接続します。

- コンピューター側がFireWire(IEEE1394.b)ポートの場合は、付属のFireWireケーブル(9pin-9pin)を使います。



- コンピューター側がFireWire(IEEE1394.a)ポートの場合は、付属のFireWireケーブル(6pin-6pin)を使います。



FireWireのコネクター(ポート)には向きがあります。コンピューター本体や本製品にFireWireケーブルを接続する際は、コネクター(オス側)の形状とポート(メス側)の形状を確認のうえ、正しい向きで差し込んでください。逆方向に差し込もうとすると、コネクターやポート部分が破損する恐れがあります。

- 2** コンピューター側にFireWireケーブルを接続します。FireWireケーブルのコネクターの形状と差し込む向きを確認し、コンピューター本体のFireWireポートにしっかりと接続します。

FireWire 800 ポートの場合



FireWire 800 ポート



コネクター部分

FireWire 400 ポートの場合



FireWire 400 ポート



コネクター部分



FireWire(IEEE1394)規格では、活線挿抜(ホットプラグ)機能が採用されているため、システム起動中に本製品を接続することができません。

※活線挿抜(ホットプラグ)機能...FireWire(IEEE1394)インターフェイス規格では「システム起動中にFireWire機器の追加や取り外しをする」など、活線挿抜(ホットプラグ)といわれる動作が可能です。

これで、本製品とコンピューターとの接続は完了です。

Macの場合

本製品の使い方については、P.24「2.使ってみましょう」へ進んでください。

Windowsの場合

本製品はMacフォーマット済みで出荷されているため、初めてお使いになる場合は、Windowsフォーマットを行う必要があります。Windows 7 / Vistaの場合はP.35「Windows 7 / Vistaでフォーマットする」へ、Windows XPの場合はP.41「Windows XPでフォーマットする」へ進んでください。

USBで接続する

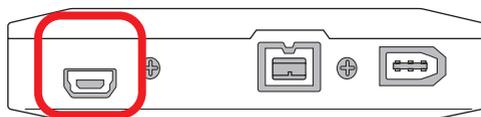
本製品をコンピューター本体のUSBポートに直接接続し、使用する場合の接続方法について説明します。



- USBで接続する場合は、必ず本製品に付属のUSB Yケーブル(A to mini B)をお使いください。一般に販売されているUSB(A to B)ケーブルまたはUSB(A to mini B)ケーブルでは、本製品を使用できない場合があります。
- 本製品をUSB2.0に対応していないWindowsマシンに接続した場合、高速でないUSBデバイスであるというメッセージが表示される場合があります。

1

本製品側にUSBケーブルを接続します。USBケーブルのコネクター (USB mini B)の形状と差し込む向きを確認し、本製品のUSBポートにしっかりと接続します。



USBケーブルのコネクター (ポート)には向きがあります。コンピューター本体や本製品にUSBケーブルを接続する際は、コネクター (オス側)の形状とポート(メス側)の形状を確認のうえ、正しい向きで差し込んでください。逆方向に差し込もうとすると、コネクターやポート部分が破損する恐れがあります。

2

コンピューター側にUSBケーブルを接続します。USBケーブルのコネクター (USB A)の形状と差し込む向きを確認し、コンピューター本体のUSBポートにしっかりと接続します。



USBポート



コネクター部分



USB規格では、活線挿抜(ホットプラグ)機能※が採用されているため、システム起動中に本製品を接続することができます。

※活線挿抜(ホットプラグ)機能 ...USBインターフェイス規格では「システム起動中にUSB機器の追加や取り外しをする」など、活線挿抜(ホットプラグ)といわれる動作が可能です。

■ これで、本製品とコンピューターとの接続は完了です。

Macの場合

本製品の使い方については、P.24「2.使ってみましょう」へ進んでください。

Windowsの場合

本製品はMacフォーマット済みで出荷されているため、初めてお使いになる場合は、Windowsフォーマットを行う必要があります。Windows 7 / Vistaの場合はP.35「Windows 7 / Vistaでフォーマットする」へ、Windows XPの場合はP.41「Windows XPでフォーマットする」へ進んでください。

2 使ってみましょう

本製品の取り外し方の手順を説明します。また、Macで起動ディスクに設定する方法について説明しています。

Windowsで本製品をお使いになる場合

本製品はMac拡張フォーマットで初期化のうえ、出荷されています。初めてお使いになる場合は、Windowsフォーマットを行う必要があります。Windows 7 / Vistaの場合はP.35「Windows 7 / Vistaでフォーマットする」へ、Windows XPの場合はP.41「Windows XPでフォーマットする」へ進んでください。

電源の入れ方 / 切り方

本製品をコンピューターに接続すると自動で電源がONになります。
また、本製品をコンピューターから取り外すことで自動で電源がOFFになります。



増設インターフェイスPCIボードおよびPCカードを装着したコンピューターでお使いの場合、本製品を接続した状態で電源を切ると、ハングアップする恐れがありますので、インターフェイスケーブルを取りはずしてから電源を切ってください。

本製品を取り外す

本製品をコンピューター本体から取り外す場合は、以下の手順に従ってください。

- 1** 必ず、本製品に記録されているファイルやアプリケーションなどのデータが使用中でないか確認してください。

Mac の場合

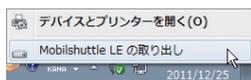
Mac の場合は、本製品をアンマウント(ゴミ箱に捨てる)します。

- ・複数のボリュームを作成している場合は、すべてのボリュームのアイコンをアンマウントしてください。

Windows の場合

タスクバーのステータス表示領域に、もしくは、アイコンが表示されます。

アイコンをクリックすると、下図のようなメッセージが表示されますので選択します。



▲ Windows 7 の場合のメッセージ (例)



▲ Windows Vista の場合のメッセージ (例)



▲ Windows XP の場合のメッセージ (例)

下図のような〈ハードウェアの取り外し〉画面が表示されますので、 をクリックします。Windows XP の場合、しばらくすると表示が消えます。

- 2** 接続しているケーブルを取り外します。

Macで起動ディスクに設定する場合

本製品をFireWire接続で使用する場合、以下の環境ではシステム起動ディスクとして使用できます。

対応状況と対応システム

Intel Mac	使用可能	Mac OS X 10.4.11以降
G5	使用可能	Mac OS X 10.4.11以降
G4	一部可能	Mac OS X 10.4.11以降
G3それ以前	不可	

※詳しい対応状況については、弊社Webサイトをご覧ください。

本製品を起動ディスクに設定する

1 本製品にMac OS Xをインストールします。



- ・Intel Macの場合は事前に本製品を「GUIDパーティションテーブル (Mac方式)」で初期化する必要があります。
- ・フォーマット形式が「Mac OS拡張 (ジャーナリング)」になっている必要があります。

2 「アップルメニュー」から「システム環境設定」を選び、「起動ディスク」をクリックします。

3 本製品のシステムを選択し、再起動ボタンをクリックします。



- ・本製品を起動ディスクに設定する場合は、FireWire 800/400ケーブルを（ハブなどを經由せずに）直接Mac本体に接続してください。
- ・本製品からシステムを起動している場合は、絶対にFireWire 800/400ケーブルを抜かないでください。途中でケーブルを抜くと挿し直してもシステムが復旧せず、再起動しなければなりません。
- ・本製品からシステムを起動している場合は、Macのスリープ機能に対応しません。

3 初期化しましょう

Macでの初期化および、Windowsでのフォーマットの方法を説明します。Mac OS 9.2.2でお使いの場合は、この後の「Mac OS 9.2.2で初期化する」を、Mac OS Xでお使いの場合はP.30「Mac OS Xで「ディスクユーティリティ」を使って初期化する」をお読みください。Windows 7 / Vistaでお使いの場合はP.35「Windows 7 / Vistaでフォーマットする」を、Windows XPでお使いの場合はP.41「Windows XPでフォーマットする」をお読みください。



初期化を実行すると、ハードディスクにあるデータはすべて消去されます。消去されたデータは元に戻せませんので、十分にご注意ください。

Mac OS 9.2.2で初期化する

Mac OS 9.2.2でお使いの場合は、本製品をFireWire 400で接続し、Mac OS標準のメニューから初期化を行います。

- 本製品に対して初期化を行う場合、FireWire接続のディスクは、本製品1台だけをコンピューターに接続している状態で行ってください。



- 2台以上のFireWire機器（FireWire接続時）が接続されていると、操作を誤って目的の機器以外のディスクが初期化される危険性があります。
- 本製品はMac OS 9.2.2の標準ユーティリティ「ドライブ設定」に対応していません。
- Mac OS 9.2.2の標準の初期化メニューにはパーティション作成機能がありません。初期化を実行すると、ハードディスクの最大容量の単一ボリューム（パーティション）になります。

- 1 本製品がFireWire 400ポートに接続されていることを確認します。

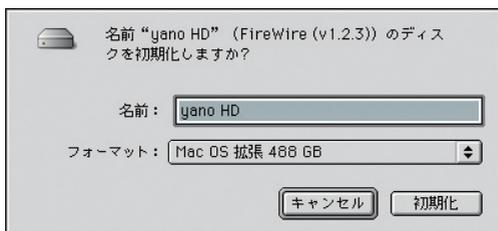
- 2 デスクトップに本製品のボリュームアイコンがマウントされます。マウントされたボリュームアイコンをクリックして、ボリュームを選択します。



- 3 「特別」メニューから「ディスクの初期化...」を選択します。



- 4** 『名前:』にボリューム名を入力します。
『フォーマット:』でフォーマット形式を選択します。「Mac OS 拡張」を推奨します。



- 5** 初期化を実行してもよければ、**初期化** をクリックします。
・本製品の初期化が始まります。

- 6** 初期化の実行中に「ディレクトリを作成中...」という画面が表示されます。
しばらくすると初期化が終了します。

■ これで初期化は完了です。

Windowsで初期化されたディスクをMacフォーマットで初期化し直す場合

Windowsで初期化されたディスクをMacフォーマットで初期化し直そうとすると、『フォーマット:』にMac OS のフォーマット形式が表示されません。以下の手順で作業を行ってください。

- ①【アップルメニュー】から【コントロールパネル】の【機能拡張マネージャ】を起動します。
- ②「File Exchange」の左側にあるチェックを外し、にして **再起動** をクリックします。
- ③Macが起動したら、本製品をUSBポートに接続します。
- ④「このディスクは、このコンピューターで読めません。ディスクを初期化しますか?」というダイアログボックスが表示されます。
- ⑤『名前:』にボリューム名を入力します。
『フォーマット:』でフォーマット形式を選択します。「Mac OS 拡張」を推奨します。
- ⑥初期化を実行してもよければ、**初期化** をクリックします。
・本製品の初期化が始まります。
- ⑦初期化が終了すると、デスクトップにハードディスクのアイコンがマウントされます。
- ⑧【アップルメニュー】から【コントロールパネル】の【機能拡張マネージャ】を起動します。
- ⑨「File Exchange」の左側にある をクリックして をつけ、**再起動** をクリックします。

Mac OS Xで「ディスクユーティリティ」を使って初期化する

本製品をMac OS Xでお使いの場合は、FireWire, USBのいずれの接続でも「ディスクユーティリティ」を使って、初期化を行います。

1 本製品がコンピューターに接続されていることを確認します。

2 システム起動ディスク(通常は「Macintosh HD」)から「アプリケーション」の中の「ユーティリティ」にある「ディスクユーティリティ」をダブルクリックして起動します。



ディスクユーティリティ

3 ディスクのリスト表示の中から、初期化するディスク(ドライブ)を選びます。



すでにデータが書き込まれたディスク(ドライブ)に対して初期化を実行すると、ディスク内のデータはすべて消去されます。消去されたデータは元に戻せませんので、初期化を実行する場合は、必ず初期化の対象となるディスクが選ばれているか確認してから行ってください。

FireWire接続の場合



・ウィンドウ下部にある「ディスクの説明」に「yano_sl」、「接続バス」に「FireWire」と表示されていることと、接続しているハードディスクの容量を「総容量」で確認します。

USB 接続の場合



・ ウィンドウ下部にある「ディスクの説明」に「yano_sl Mobilshuttle LE Media」、「接続バス」に「USB」と表示されていることと、接続しているハードディスクの容量を「総容量」で確認します。

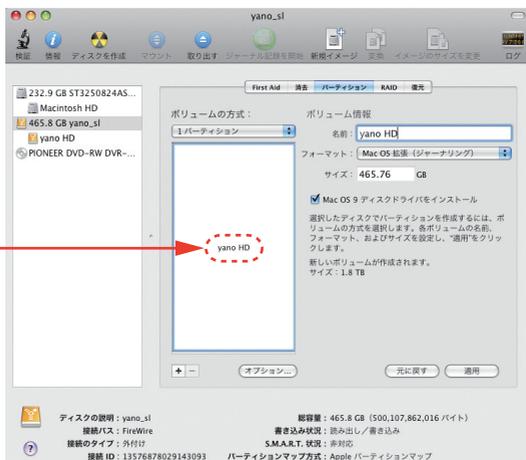
- 4** 「パーティション」をクリックします(下記の表を参照してください)。
 「ボリュームの方式」「フォーマット」を選び、必要に応じて「名前」を入力します。
 名前を入力した後にキーボードのreturnキーまたは、enterキーを押し、入力した名前がパーティションマップに反映されていることを確認します。

ボリュームの方式		ディスクを複数のボリュームに分割できます。
ボリューム情報	名前	ディスクに付ける名称を入力します。 初期値は「名称未設定」になっています。名前を入力後、キーボードのreturnキーまたはenterキーを押しします。
	フォーマット	Mac OS 標準、Mac OS 拡張、UNIX ファイルシステムの中から初期化のタイプを選びます。 通常は「Mac OS拡張 (ジャーナリング)」で初期化してください。
	サイズ	初期化されるディスク容量が表示されます。

 **「Mac OS 9 ディスクドライバをインストール」が表示されている場合**
 「Mac OS 9 ディスクドライバをインストール」のチェックを外した状態で初期化を行ったハードディスクは、Mac OS 9のシステム環境では使用できなくなります。

 **「UNIX ファイルシステム」形式で初期化されたディスクは、Mac OS X でのみお使いいただけます。他のシステム (Windows を含む) では使用できません。**

名前が反映されて
いるか確認



5 初期化を実行してよければ、**適用** をクリックします。

・本製品の初期化が始まります。

6 操作を実行してもよいかを確認する（警告!）ダイアログが表示されます。実行してよければ **パーティション** をクリックします。

7 「ディスクユーティリティ」を終了します。デスクトップに、ドライブアイコンが表示



▲FireWire 接続の場合
されます。



▲USB 接続の場合

これで初期化は完了です。

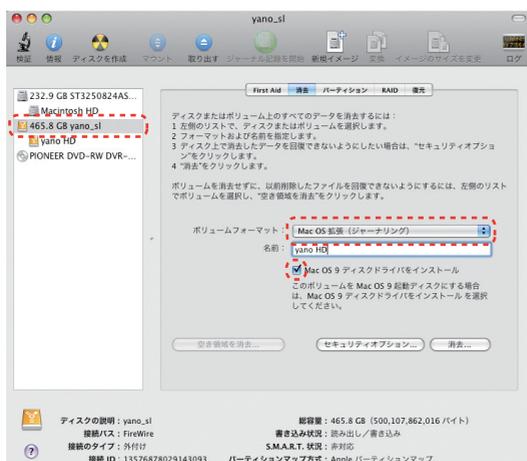
Mac OS Xで物理フォーマットを行う

物理フォーマットを行う際は、以下の手順で作業を行ってください。

1 「Macintosh HD」→「アプリケーション」→「ユーティリティ」の順に開き、「ディスクユーティリティ」を起動します。

ディスクのリスト表示の中から物理フォーマットの対象となるディスク（ドライブ）を選択し、「消去」を選びます。

「ボリュームフォーマット:」に「Mac OS 拡張(ジャーナリング)」を選択し、「名前:」を入力します。



注意

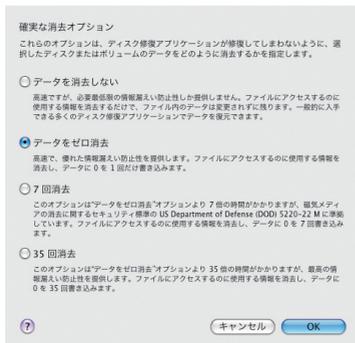
「Mac OS 9 ディスクドライバをインストール」が表示されている場合

「Mac OS 9 ディスクドライバをインストール」のチェックを外した状態で初期化を行ったハードディスクは、Mac OS 9 のシステム環境では使用できなくなります。

2

「セキュリティオプション...」 をクリックすると、**〈確実な消去オプション〉** 画面が表示されますので、「**データをゼロ消去**」にチェックを入れて (Mac OS X 10.7.2~の場合はスライダーバーを操作して)、**OK** をクリックします。

~Mac OS X 10.6.8の場合



Mac OS X 10.7.2~の場合



3

〈消去〉 画面に戻ったら、**消去...** をクリックするとディスクの消去をしてもよいかを確認する **〈ディスクの消去〉** 画面が表示されます。消去する場合は、

消去... をクリックし実行します。

消去が終了すれば、物理フォーマットは完了です。



注意

すでにデータが書き込まれたディスク(ボリューム)に対して初期化を実行すると、ディスク内のデータはすべて消去されます。消去されたデータは元に戻せませんので、初期化を実行する場合は、必ず初期化の対象となるディスクが選ばれているか確認してから行ってください。また、複数のボリュームがある場合はすべて消去されますのでご注意ください。



注意

物理フォーマットは、デバイスの全領域に「0」を書き込むため通常のフォーマットよりも時間がかかります。(500GB FireWire 接続時で約4時間)
消去タブに「オプション...」ボタンが表示されていない場合や「消去オプション」画面で「全データを「0」にする」にチェックが入っていない場合は、物理フォーマットを行えません。

Windows 7 / Vista でフォーマットする

Windows で本製品をお使いになる場合

本製品はMac 拡張フォーマットで初期化のうえ、出荷されています。初めてWindows マシンでお使いになる場合は、Windows フォーマットに初期化し直す必要があります。ここでの手順どおり本製品を初期化してください。

Windows フォーマットで初期化済みの本製品を再度フォーマットする場合は、P.40 「Windows で初期化されたディスクを再フォーマットする」の手順に従ってフォーマット作業を進めてください。

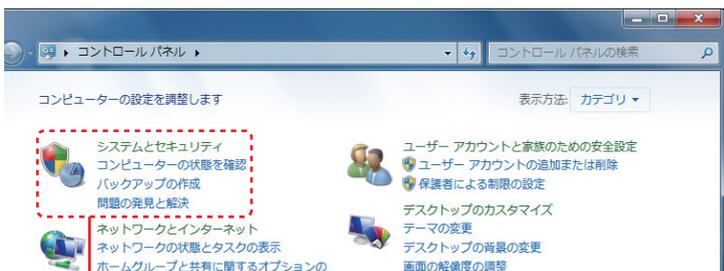
- 1 本製品がコンピューターに接続されていること、管理者アカウントでログオンしていることを確認します。

- 2 スタートメニューから[コントロールパネル]を開きます。



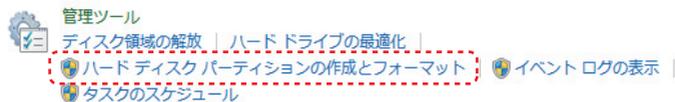
- 3 [コントロールパネルホーム] から[システムとセキュリティ]を開きます。

※Windows Vista の場合は「コントロールパネル」から（システムとメンテナンス）を開きます。



ここをクリック

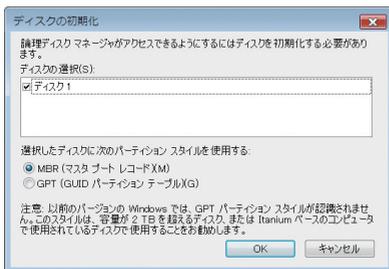
4 [管理ツール]の[ハードディスク パーティションの作成とフォーマット]を選びます。



・[管理ツール]項目は、[コントロールパネルホーム]の最後にあります。

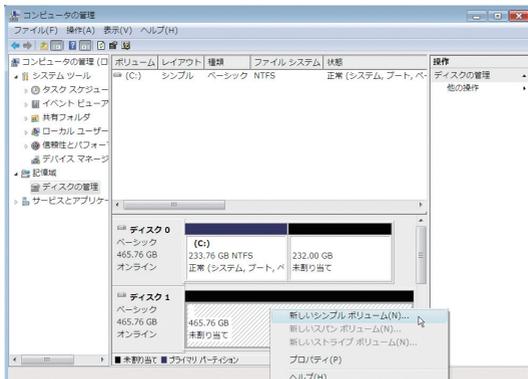
5 <ディスクの初期化> 画面が表示されますので、初期化するディスクを選択し、

OK をクリックします。



6 <ユーザー アカウント制御> 画面が表示されますので、続行(C) をクリックします。

7 ディスク情報が表示されているエリアを右クリックし、サブメニューの「新しいシンプルボリューム」を選びます。



8 <新しいシンプル ボリューム ウィザードの開始> 画面が表示されますので、

次へ(N) > をクリックします。

- 9** 〈ボリュームサイズの指定〉画面が表示されますので、使用するディスク領域を設定後、**次へ(N) >** をクリックします。



- ・NTFSでフォーマットを行う場合は、表示される設定のままで作業を進めてください。



Mac OS XではNTFSフォーマットされたボリュームのマウント、読み込みに対応していますが、書き込みには対応しておりません。また、動作について保証されておりません。



Windows 7 / VistaのFAT32フォーマットは、フォーマッターに制限があり、32GBを超えるボリュームをフォーマットできません。本製品をFAT32でお使いの場合は、32GB(32,768MB)までのパーティションを作成してから、フォーマットを行ってください。

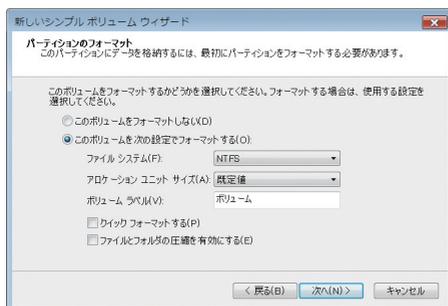
NTFSフォーマットには、FAT32のようなファイルシステムの制限はありません。表示される設定内容のままで作業を進めてください。

- 10** 〈ドライブ文字またはバスの割り当て〉画面が表示されます。設定後、**次へ(N) >** をクリックします。



- ・ここでは表示される設定内容そのまま作業を進めてください。

- 11** <パーティションのフォーマット>画面が表示されます。設定後、**次へ(N) >** をクリックします。



- ・ここでは「ファイル システム」に「NTFS」を選択します。
- ・その他の項目は、通常は表示される設定内容のままで作業を進めてください。



Windows 7 / VistaのFAT32フォーマットは、フォーマッターに制限があり、32GBを超えるボリュームをフォーマットできません。本製品をFAT32でお使いの場合は、32GB(32,768MB)までのパーティションを作成してから、フォーマットを行ってください。

- 12** <パーティションの作成ウィザードの完了>画面が表示されますので、**完了(E)** をクリックします。

- 13** 選択したディスクの初期化が始まります。ディスク1の詳細内奥に「フォーマット中」と表示されます。



- 14** フォーマットが完了すると、ディスク1の詳細内容画面に「ファイルの総容量」と「選択したファイルシステム」の情報に加え、状態として「正常」と表示されます。



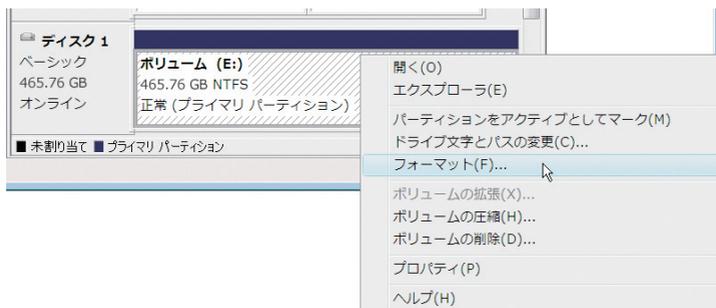
- ・ ディスクの内容を表示するフォルダーが開いた場合は閉じてください。

■ これでフォーマット(初期化)は完了です。このあとすぐに本製品をお使いになれます。

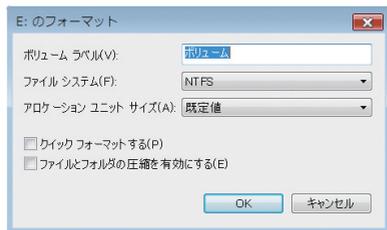
Windows で初期化されたディスクを再フォーマットする

Windows フォーマットで初期化済みの本製品を再度初期化する場合は、以下の手順に従ってください。なお、画面はWindows 7 / Vistaで説明していますが、Windows XPでも手順は同じです。

- 1 フォーマットしたディスク(画面例では「ディスク1」)の詳細内容に「正常」と表示されていることを確認し、詳細内容部分にポインタを合わせて、マウスの右ボタンをクリックします。サブメニューが開きますので、「フォーマット」を選びます。



- 2 〈フォーマット〉画面が表示されます。設定後、**OK** をクリックします。



- 3 フォーマットしてもよいか確認の画面が表示されます。設定後、**OK** をクリックします。

・ 選択したディスクの詳細内容に、「フォーマット中」と表示されます。

- 4 フォーマットが終わると、選択したディスクの詳細内容画面に「ファイルの総容量」と「選択したファイルシステム」の情報に加え、状態として「正常」と表示されます。

これでフォーマット(初期化)は完了です。このあとすぐに本製品をお使いになれます。

Windows XPでフォーマットする

Windowsで本製品をお使いになる場合

本製品はMac 拡張フォーマットで初期化のうえ、出荷されています。初めてWindows マシンでお使いになる場合は、Windows フォーマットに初期化し直す必要があります。ここでの手順どおり本製品を初期化してください。

Windows フォーマットで初期化済みの本製品を再度フォーマットする場合は、P.40「Windowsで初期化されたディスクを再フォーマットする」の手順に従ってフォーマット作業を進めてください。

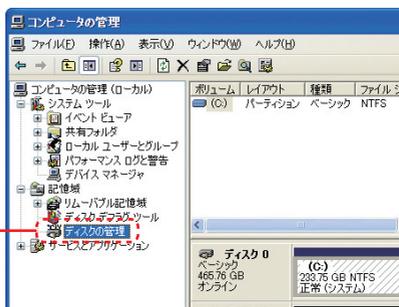
- 1 本製品がコンピューターに接続されていること、管理者アカウントでログオンしていることを確認します。
- 2 スタートメニューから[コントロールパネル]を開きます。
- 3 [コントロールパネル]から[管理ツール]の[コンピューターの管理]を起動します。



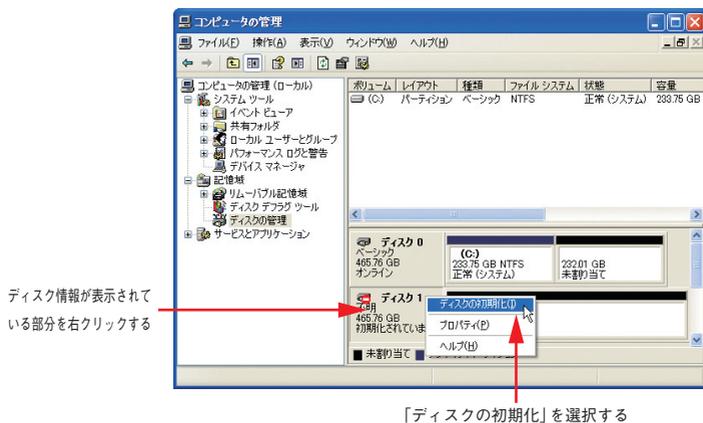
コンピューターの管理

- 4 [記憶域]から[ディスクの管理]を選びます。

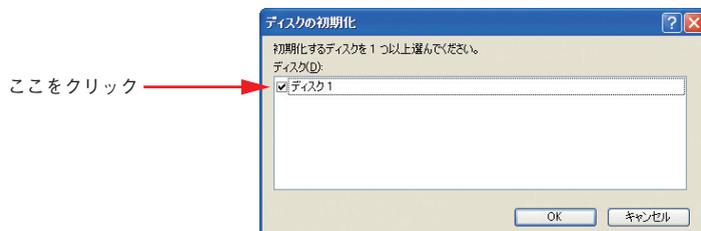
ここをクリック



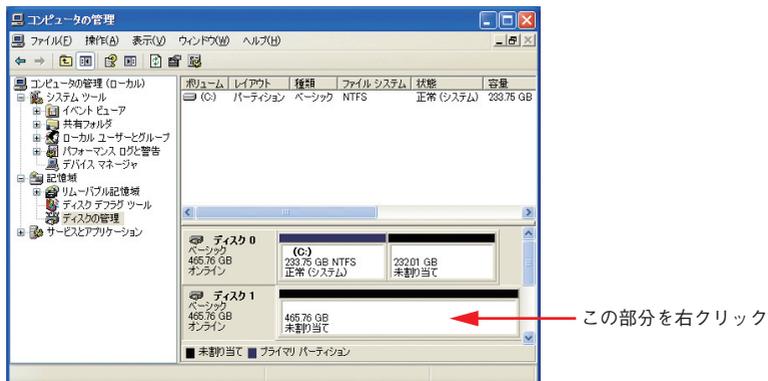
- 5** ディスク情報が表示されているエリアを右クリックし、サブメニューの「ディスクの初期化」を選択します。



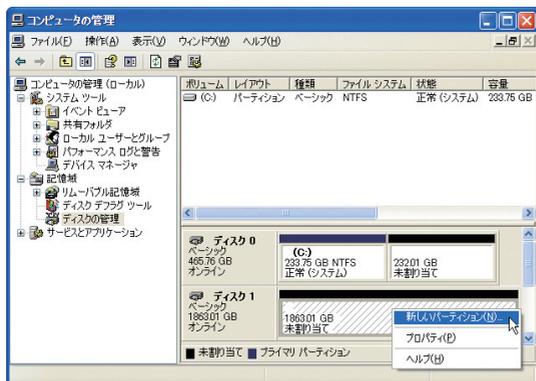
- 6** <ディスクの初期化> 画面が表示されますので、初期化するディスクに を入れ、 をクリックします。(ここでは、ディスク1を初期化します)



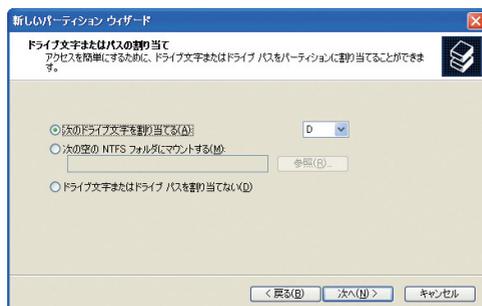
- 7** <コンピューターの管理> 画面が表示されますので、ディスク1の詳細内容の部分にポインタを合わせて、マウスの右ボタンをクリックします。



- 8** マウスの右ボタンをクリックすると、サブメニューが開きますので、「新しいパーティション」を選択します。

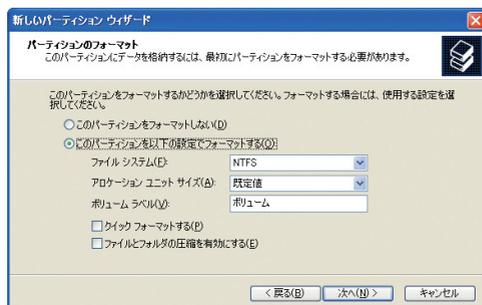


- 12** 〈ドライブ文字またはパスの割り当て〉画面が表示されます。設定後、**次へ(N) >** をクリックします。



・ここでは、表示される設定内容のまま作業を進めてください。

- 13** 〈パーティションのフォーマット〉画面が表示されます。「このパーティションを以下の設定でフォーマットする」を選択し、**次へ(N) >** をクリックします。



・ここでは「ファイルシステム:」にNTFSを選択します。



Windows XPのFAT32フォーマットは、フォーマッターに制限があり、32GBを超えるボリュームをフォーマットすることができません。本製品をFAT32でお使いの場合は、32GB(32,768MB)までのパーティションを作成してから、フォーマットを行ってください。

- 14** 〈パーティションの作成ウィザードの完了〉画面が表示されますので、**完了(E)** をクリックします。

- 15** 選択したディスクの初期化が始まります。ディスク1の詳細内容に「フォーマット中」と表示されます。



- 16** フォーマットが完了すると、ディスク1の詳細内容画面に「ファイルの総容量」と「選択したファイルシステム」の情報に加え、状態として「正常」と表示されます。

❌をクリックして<コンピューターの管理画面>を閉じます。



- これでフォーマット(初期化)は完了です。このあとすぐに本製品をお使いになれます。

Chapter

3

付 録

Chapter 3では、本製品が正常に動作しない時のトラブルシューティングとカスタマーサポートなどをご案内しています。必要に応じてお読みください。

1 こんな時には

正常に動作しない場合など、トラブルが発生した時は、下記のことを確認してください。

- Mac** … Macintosh の内容です。
- 9.2.2** … Mac OS 9.2.2 に限定した内容です。
- X** … Mac OS X に限定した内容です。
- Win** … Windows の内容です。

? 本製品がデスクトップ上にマウント(認識)されない。

- 本製品の電源は入っていますか。

Mac Win 本製品上面のパワーランプが点灯しているか確認してください。また、USB で接続している場合は供給電力の不足が考えられます。USB ケーブルの補助給電力コネクターも併せて接続してください (P.15 「USB で接続する際の注意事項・制限事項」を参照)。

- 本製品とFireWire ケーブルまたはUSB ケーブルは正しく接続されていますか。

Mac Win コンピュータ本体などのFireWire ポートまたはUSB ポートと本製品の間をインターフェースケーブルで接続する必要があります。ケーブルが正しく接続されているか確認してください。

- 本製品が正しく初期化されていますか。

Mac Win 初期化の方法についてはP.27「3.初期化しましょう」をご覧ください。
※初期化を行った場合、中身のデータは全て消失します。

- ドライバーソフトウェアは使用可能な状態ですか。

Win 本製品をコンピューターに接続し、それぞれの電源を入れて Windows を起動させてください。「マイコンピュータ」をマウスの右ボタンでクリックし、「プロパティ」を選択してください。「デバイス マネージャ」タブの「種類別に表示」で、「1394バスコントローラー」の中に「OHCI」のドライバーが表示されているかを確認してください。

- コンピューター側のポートは正常に動作していますか。

Mac Win 他のFireWire またはUSB 機器を同じコンピューターのポートに接続して正常に動作しているか確認してください。

❓ ハードディスクがデスクトップにマウント(認識)された状態で、ケーブルを抜いてしまった。

- FireWire ケーブルまたはUSB ケーブルを接続し直してください。それでもマウント (認識) されない場合は、コンピュータ本体を再起動してください。

  この操作を行うとデータが壊れる可能性がありますので、FireWire ケーブルまたはUSB ケーブルを抜かないように注意してください。

❓ 警告ダイアログが現れる。

- 本製品がデスクトップにマウント(認識)されている時に、本製品とMacの接続が解除されたり、電力の供給が切れると、以下の警告ダイアログが表示されます。

 「ディスクからの応答がありません。問題を解決しないと、ディスクの内容が壊れる可能性があります。」

元の状態に戻せば(接続を外した場合はケーブルを接続し直せば)、ダイアログは消えます。

接続を解除する場合は、本製品に記録したファイルやアプリケーションなどのデータが使用中でないか確認し、本製品のアイコンをアンマウントして(ゴミ箱に捨てて)から行ってください。

 OK ボタンをクリックすれば、ダイアログは消えます。

接続を解除する場合は、本製品に記録したファイルやアプリケーションなどのデータが使用中でないか確認し、本製品のアイコンをアンマウントして(ゴミ箱に捨てて)から行ってください。

【?】他のディスクに入っているデータを本製品にコピーするとファイル容量が異常に大きくなる。

- Macのファイルフォーマット形式には標準フォーマットと拡張フォーマットがあり、ファイルフォーマット形式の異なるディスク間でデータのコピーを行うと、ファイル容量が異常に大きくなる場合があります。

データのやりとりをするディスクのフォーマット形式は統一してお使いください。通常、Macに内蔵のハードディスクは拡張フォーマットで初期化されているため、本製品をフォーマットする必要がある場合は、拡張フォーマットで初期化してください。なお、本製品は拡張フォーマットで出荷されています。

9.2.2 拡張フォーマットで初期化する場合は、対象のディスクを選択して「特別」メニューから「ディスクの初期化」を選択して初期化してください。このとき、「フォーマット:」で「Mac OS拡張」を選択してください。(P.27「Mac OS 9.2.2で初期化する」を参照)

X 拡張フォーマットで初期化する場合は、「ディスクユーティリティ」のフォーマットのタイプを「Mac OS 拡張 (ジャーナリング)」にしてください。(P.30「Mac OS Xで「ディスクユーティリティ」を使って初期化する」を参照)

【?】Windowsでフォーマットされた本製品をMacに接続すると、〈ディスクの初期化〉画面が表示された。

- File Exchange が無効になっていませんか。

9.2.2 File Exchangeが無効になっていると、Windowsフォーマット形式のディスクを認識できません。このため、〈ディスクの初期化〉画面が表示されます。

- WindowsのNTFSフォーマットで初期化していませんか。

9.2.2 Mac OS 9.2.2はNTFSフォーマットに対応していません。NTFSでフォーマットされた本製品は、Macではデスクトップにマウントされず、未フォーマットドライブとして認識されるため、〈ディスクの初期化〉画面が表示されます。



【注意】弊社はMac OS上でのWindows (DOS) フォーマットデバイスの動作を保証していません。

? WindowsのFAT32フォーマットで複数パーティションに区切られた本製品を接続すると、1つのボリュームしか認識できない。

- WindowsのFAT32で複数のパーティションに区切られていると、Mac OS 9.2.2 では、第1パーティションのみがデスクトップにマウントされます。

9.2.2 ただし、第2パーティション以降はマウントされませんのでご注意ください。



弊社はMac OS上でのWindows (DOS) フォーマットデバイスの動作を保証していません。

? 本製品を起動ディスクに設定しても、別のディスクからシステムが起動する。

- お使いのOSが起動ディスクに対応しているか確認してください。

X 起動ディスクに対応しているのはMac OS Xのみです。(P.26「Macで起動ディスクに設定する場合」を参照)

- システムは正しく本製品にインストールされていますか。

X 本製品を起動ディスクに設定する場合は、システムが正しくインストールされている必要があります。システムインストールディスクを使って、本製品にシステムをインストールしてください。他のディスクからシステムフォルダをコピーしても本製品を起動ディスクとしては使用できません。

- 起動ディスクに設定し直して、再起動してください。

X 本製品を起動ディスクに設定しても、他のディスクからシステムが起動することがあります。その場合は、本製品に電源が入ったままの状態、改めてシステム環境設定の起動ディスクで本製品を選びシステムを再起動してください。

? 本製品背面のネジがとれて、紛失してしまった。

- 弊社カスタマーサポートまでご連絡ください。(P.53「2.サポートとサービスのご案内」参照)

? 本製品の内部に異物が入ったため、分解して取り除きたい。

- ディスク内蔵モデルをご購入の場合、一旦分解すると製品の保証が失効してサポート対象外となります。分解せずにそのまま弊社カスタマーサポートまでご連絡ください。

? 本製品が故障したので内部のデータを救出してほしい。

- 弊社は製品内部のデータについては保証しておりません。日常的に必ずデータのバックアップを行ってください。
- データの復旧サービスは有料で行っております。詳細は弊社カスタマーサポートまでご連絡ください。(P.53「サポートとサービスのご案内」参照)

2 サポートとサービスのご案内

カスタマーサポートとWebサイトのご案内

もし、本書を参照してもトラブルが解消しなかった場合は、製品を購入された販売店、もしくは弊社までご相談ください。

弊社では、「カスタマーサポート」の専用回線を設置しております。お問い合わせは、下記あてをお願いします。

また、弊社Webサイトでは、製品情報、製品に関するトラブルシューティング、ドライバーソフトおよびソフトウェアのアップデートサービスなど、最新のサポート情報を公開しています。お問い合わせの前にご確認ください。

本製品が故障した場合のデータ復旧サービスは保証期間内であっても有償です。また、必ずデータ復旧ができるとは限りません。データのバックアップは複数の方法でこまめに行うようにしてください。

カスタマーサポート専用回線

Tel. (078) 646-7305 Fax. (078) 646-8983
月曜日から金曜日まで（祝祭日、特定休業日は除く）
午前9：30～12：00 午後1：00～5：00

※カスタマーサポートの専用回線が混み合っている場合は、しばらく経ってからおかけ直してください。

Web : www.yano-sl.co.jp

E-Mail : info@yano-sl.co.jp

ヤノ販売株式会社

〒653-0836 神戸市長田区神楽町2-3-2 東洋ビル東棟2F Tel. (078) 646-7303

マルチインターフェース対応 2.5インチハードディスクドライブ Mobilshuttle LE series ユーザーズマニュアル

2012年1月27日 第1版発行

発行所

ヤノ販売株式会社
〒653-0836 神戸市長田区神楽町2-3-2 東洋ビル東棟2F

本書の一部あるいは全部についても、弊社から文書による許諾を得ずに、いかなる方法においても無断で複写、複製することは禁じられています。

本マニュアルに掲載された製品の仕様等は予告なく変更することがあります。

Apple, Mac, Macintoshは米国アップル社の登録商標です。

Microsoft, Windowsは米国Microsoft社の登録商標です。

その他、本マニュアルに記載された会社名および製品名は、各社の商標および登録商標です。



ヤノ販売株式会社
www.yano-sl.co.jp